

子ども・子育て新システム検討会議作業グループ こども指針(仮称)ワーキングチーム(第1回)	参考5
平成22年9月29日	

子ども育成指針

基本理念

日本保育協会青年部

私たち大人は、子どもの育成に関する正しい観念や知識を共有し、子ども一人一人が安心・安全・幸せに生きることのできる環境作りに、責任を持って取り組むことを約束します。

そして、子ども自らがより望ましい人格及び豊かな人間性を形成していこうとする姿に、心から共感し・喜び・支援していくことこそ、私たちの大切な使命であると自覚するとともに、それを全うしなければなりません。

私たち大人は

- ・ **すべての子どもを人として、社会の一員として尊び、最大限の愛情を注いで育てます。**
- ・ **すべての子どもを社会全体で構築する、育成に適した環境の中で育みます。**
- ・ **すべての子どもの最善の利益を確保し、最善の教育を提供します。**
- ・ **すべての子どもの気持ちを受け止め、心身の健やかな成長と豊かな心情の育成を支援します。**
- ・ **すべての子どもの主体的な活動を促すとともに、育ちを一貫して支える視点を大切にします。**

1．親・家族の関わり

- ・ **子どもの生命保持と育成に対して、強い責任と使命を持ちましょう。**
- ・ **たゆまぬ愛情と豊かなふれあいを大切にして、子育てを楽しみましょう。**
- ・ **家族一人一人の存在と役割を重んじ、互いの存在を尊びましょう。**
- ・ **いかなる時も子どもの模範的な社会人として、人として温かみのある言動を心がけましょう。**
- ・ **自らの家庭の伝統や文化を重んじ、その継承と伝達に務めましょう。**

2．社会の関わり

- ・ 地域ぐるみで子どもの生命を守り、心身ともに健やかな子どもを育てましょう。
- ・ 誰もが子育てを楽しめる環境を整備しましょう。
- ・ 社会保障の更なる充実と、偏りを見せる給付構造の見直しを行いましょう。
- ・ 地域における有効的な生活コミュニティを構築しましょう。
- ・ 望ましい教育方針を共有し、最適な教育環境を創造しましょう。

私たち日本国に在住するすべての大人は、社会の一員であることを自覚し、これから我が国を支えていく子どもの育ちに対して、最大限の関心を持ち、最大限の愛情を注いでいくことが、重大な責任であり使命であることを決して忘れてはなりません。